

# Computex 2015で注目を集めた ベンチャーパビリオン/台湾ベンチャー事情(1)

台北市コンピュータ協会駐日代表 吉村 章

## ■ Computex2015

Computex2015の会期は2015年6月2日(火)から6月6日(土)までの5日間。台北の世界貿易センター展示場(信義区)と南港ホールで開催された。出展企業はASUS(華碩)、Acer(宏碁)、Gigabyte(技嘉)、MSI(微星)など台湾を代表する国内大手ITベンダーをはじめ、中堅・中小企業からベンチャー企業まで。出展規模は5,072小間、出展企業数は1,702社(2015年実績)、主催は台北市コンピュータ協会(TCA)と台湾対外貿易発展協会(Taitra)による共同主催。世界の165の国と地域から3万8千人の外国人バイヤーを集めて開催された。

世界最大の民生用電子機器見本市として有名なのはアメリカ/ラスベガスで開催されるInternational CES(米国家電協会主催/1月)、そしてドイツ/ハノーヴァーで開催される国際情報通信技術見本市はCeBIT(Deutsche Messe AG主催/3月)、このどちらも世界中の業界関係者が注目する見本市である。Computexは、この2つの国際的なITイベントと肩を並べるほどに注目される展示会となった。世界のIT業界にも大きな影響力を持つアジア最大のIT見本市としても注目を集めている。

Computexに訪れるバイヤーの数は3万8千人。バイヤーを国籍別に見ると、中国、アメリカ、日本、香港、韓国がトップ5の地域。それに、シンガポール、タイ、マレーシア、ドイツ、ロシアと続く。日本からのComputexを訪れるバイヤーはおよそ4,000人。中国、アメリカも僅差でもほぼ同数。上位3か国で会期中1万人以上のバイヤーがComputexを訪れた。

会場は台北の世界貿易センター展示場(信義区)と南港ホールの2つの地区。信義区では世界貿易センターのHall1、Hall3、国際会議場の3か所。南港ホールは4階と1階のふたつのフロアを使って開催された。2つの会場はシャトルバスで結ばれていて、移動には便利。加えて、台北市内はMRT(地下鉄)が整備され、世界貿易センター展示場(信義区)にMRT信義線が乗り入れ、アクセスがたいへん便利になった。

市内の移動手段がタクシーしかなかった頃に比



Computex2015は出展規模は5,072小間、出展企業数は1,702社で開催



世界の165の国と地域から3万8千人の外国人バイヤーが集まった

べると、ホテルから会場に向かう朝夕のラッシュは緩和され、ビジネスで台北市内を移動する場合も、渋滞や雨の日のタクシー待ちに左右されることがなくなり、格段に便利になった。

### ■第3ホールにイノベーションベンチャーテーマパビリオン「創新創業主題館」

ベンチャーが注目されている。その背景にはIOTと産業変革の動きがある。IOTをキーワードに製品がネットワークに接続されると、端末の役割にも大きな変化をもたらす。ノートブック、タブレット、スマートフォンなどOEM/ODMを中心に業績を伸ばしてきた台湾大手ベンダーも従来のビジネスモデルからの脱皮を迫られ、IOTをキーワードにモノ作りの新たな動きの模索を始めている。

Computex2015では第3ホールにベンチャーパビリオンを設置。正式なパビリオン名は「イノベーションベンチャーテーマパビリオン」、中国語では「創新創業主題館」との名称。「預見未来邁進世界」(予見する未来 邁進する世界)をテーマに、Smart Home (科技家居)、Smart Mobility (行動生活)、Smart Living (智慧風尚)の3つの分野で出展企業9社が技術を競い合った。

主催団体には「国家發展委員会」と「Epoch/時代基金会」という2つの組織が名を連ねている。国家發展委員会とは行政院(日本の内閣府に相当)に置かれている経済建設や研究開発分野から産業政策を推進する機関。Epoch/時代基金会は1991年設立。主にIT分野で産業振興や人材育成に取り組んできた実績のある組織である。

参考までに、台湾では「○○○基金会」という名前をよく耳にする。「基金会」とは特定の目的で組織や団体が資金を管理し、それを運用して活動する組織。公的な色彩が強い。台湾にはさまざまな分野でこうした組織があり、産業界では政策提言、経済交流、産業振興、人材育成、国際交流、ビジネスマッチングなど、さまざまな活動を行っ

ている。(政治、経済、教育、宗教など他の分野でもさまざまな「基金会」が設けられている)

協賛企業には、Wistron (緯創資通)、Quanta (廣達研究院)、ACER (宏碁電腦)、Business Next Publishing (數位時代)など、台湾を代表するパソコンベンダーやメディアが名を連ねている。今回の「創新創業主題館」には国や産業界全体から大きな期待が寄せられていることが窺い知れる。

第3ホール中央に白を基調とした落ち着いたデザインのパビリオンが設置され、中央にはステージが設けられた。タイムテーブルごとに出展各社のプレゼンがあり、多くの来場者がここで足を止めていた。ステージでは参加企業9社がそれぞれの得意領域でオリジナルテイ溢れた製品を披露した。

また、パビリオンでの製品出展だけではなく、6月5日(金)の午後には信義区の信義誠品メディアルームに場所を移して、「Meet The Future」をテーマにフォーラム「預見未来/創新論壇」も実施された。



「創新創業主題館」(イノベーションベンチャーテーマパビリオン)が第3ホールに出展

### ■イノベーションベンチャーテーマパビリオン「創新創業主題館」の出展企業は9社

Smart Mobility 分野では、非接続充電が可能な電動三輪スクーター「Gaius」、アスリートのスタミナを管理するウェアブル端末「Gomore」、さま

さまざまなセンサーを内蔵し多機能を実現したルームミラー「Adenovo」、以上の3社が出展。

➤ Smart Mobility 分野

- ・GAIUS(蓋亞汽車)  
<http://gaiusauto.com/>
- ・bOMDIC (博晶醫電)  
<http://gomore.jp/>
- ・ADENOVO (諦諾科技)  
<http://www.adenovo.com/>

また、Smart Living 分野では、iPhone 用のモバイル顕微鏡「Aidmics μandy」、セキュリティ機能を重視したコンパクトな iPhone/iPad 用のストレージデバイス「Piconizer」、さまざまな色をスキャンして画像に活用できるデジタルクレヨン「Mozbii」の3社。

➤ Smart Living 分野

- ・Aidmics (億觀生技)  
<http://www.aidmics.com/>
- ・Maktar (民傑資料)  
<http://www.maktar.com>
- ・mozbii (優富樂)  
<http://tw.mozbii.com/>

そして、Smart Home 分野では、ネコの顔認証で飼いネコに餌を与える「CatFi」(猫臉辨識餵食器)、世界で初めての置き忘れ/忘れ物防止装置「LifeBring」、USB 接続でさまざまな機器をネットワークに繋ぎ携帯からのコントロールを可能にした「NextDrive」の3社。各社の製品情報の詳細はそれぞれホームページからご覧ください。

➤ Smart Home

- ・ZILLIANS (奇群科技)  
<http://zillians.com/>

- ・HERE (迪英佳科技)  
<http://www.here-apps.com/>
- ・Nextdrive (聯齊科技)  
<http://www.nextdrive.io/>

➤ Computex 2015 Meet the Future 「ベンチャーパビリオン」(創新創業主題館)

<http://www.epoch.org.tw/computex2015>



MEET THE FUTRE をテーマに IOT をキーワードにベンチャー企業 9 社が出展

■台湾のベンチャー支援と日台のアライアンス

台湾のベンチャー支援策は經濟部中小企業處(日本の中小企業庁に相当)が中心となって進められている。台湾では2012年には「創業台湾計画」(Start-Up Taiwan)がスタートした。各地にインキュベーションセンター(中小企業創新育成中心)が設立され、ベンチャー支援の積極的な活動が行われている。

ベンチャーキャピタルの投資分野を見ると、これまで半導体関連、電子工学関連などのIT産業分野への投資が中心となっている。その背景には、OEM (original equipment manufacturer) を中心として製造業が台湾の発展をけん引してきたという経緯、IT産業を政府が支援の重点分野としてきたこと、IT分野におけるインフラ設備の充実や技術やノウハウの蓄積、人材の層の厚さなどが挙げられる。

また、昨今注目を集めているのがIOT (Internet of Things) である。IOTは製造業、物流、教育、医療・バイオ関連分野、各種のサービスの現場で、仕事のやり方そのものを変える大きな変革をもたらそうとしている。特に、サービス分野では中国

の巨大マーケットを見据えて、投資対象分野として注目を浴びてきた。

さらに、ここへ来て台湾がベンチャーにこれまで以上に力を入れるのは、これまでのOEM/ODMモデルからの変革を目指すためだ。IOTがその動きを加速している。「イノベーション」がキーワード。より多くの技術革新を起こすためには、新しい視点でチャレンジ精神を発揮するベンチャー企業の力が必要と考えているのだ。

こうした動きは日本企業にとっても注目したいところだ。台湾にはグローバルバリューチェーンの構築力と人的ネットワーク力に「強み」があり、また台湾企業側も日本企業との協業を望んでいる。文化的にも、歴史的にも親日的な台湾は、こ



日本からも技術出展やビジネスパートナーを探す企業が出展



欧米をはじめ世界中から集まるバイヤーがターゲット、日本企業の出展も増えつつある



世界中から集まるバイヤーは製品の「買い付け」が目的、最新モデルをチェックする来場者



「商談」のために集まるバイヤー、クリスマス商戦向けの製品調達が目的

れまでビジネス面でも日本企業との協業の経験を積んできている。親日的な経営者が多く、技術アライアンスや製品の共同開発などの分野でも日台の協業に積極的だ。ビジネス折衝や交渉力に優れ、台湾企業との協業によるグローバルマーケットへのチャレンジという選択肢は日本企業のもとも魅力的である。

以下は、イノベーションベンチャーテーマパビリオン「創新創業主題館」への出展製品を中心に Computex2015 で注目を集めた製品を紹介する。

## ■ 1 ■ 物流と運行管理をクラウド上で可能にした小型電動三輪スクーター

➤ GAIUS AUTOMOTIVE (蓋亜汽車)

GAIUS AUTOMOTIVE はビジネスユースの小型電動三輪スクーターを出展。恐らく世界で最初のインテリジェンスクーターである。最大の特徴は「Park&Charge」と称する充電システム。GAIUS AUTOMOTIVE の設立は 2010 年だが技術開発力には定評がある。

コックピットにディスプレイを装備し、スマートフォンと連動でクラウドを使って管理する。荷物の配送や追跡、メッセージ、データ入力、GPS 機能によるナビゲーション機能と走行ルートの解析など、クラウドを活用したハイテク機能を搭載。物流と車両の運行管理をひとつのクラウド上で管理する。

注目の「Gaius Park&Charge」は電動スクーターにおいて世界で初めてワイヤレスバッテリー充電を実現。車体を所定の位置に駐車するだけで自動的にバッテリー充電を開始する。バッテリーは制御アプリにより NFC モジュールと充電プログラムに作動し、充電容量の管理、予約充電、バッテリーチェックなど、クラウド上で管理されたアプリケーションによりシステムをコントロールする。

車体は小型軽量なので取り回しがしやすく、狭い路地にも気軽に入れる。また駐停車も便利でエコで環境に優しい設計。車体は荷物の積み下ろしもしやすい設計で、効率よくスピーディな配送作業が可能。業界でも注目を集めている一台だ。

➤ GAIUS AUTOMOTIVE (蓋亜汽車)

台中市西屯区工業区 32 路 82 号 2F

N082, 32ND. ROAD, TAICHUNG

INDUSTRIAL PARK, TAICHUNG, TAIWAN

TEL : + 886-4-2355-3338

FAX : + 886-4-2355-3336

<http://www.gaiusauto.com>



コックピットにディスプレイを装備し、物流と車両の運行管理をひとつのクラウド上で管理



世界で初めてワイヤレスバッテリー充電を実現、駐車するだけで自動的にバッテリー充電を開始

## ■ 2 ■ アスリートのためのウェアラブルデバイス「GoMore」

bOMDINC INC (博晶医電)

bOMDINC 社の「GoMore」はベルト型で体にフィットさせるタイプのウェアラブル端末。今年の Computex に出展された製品は「GoMore」の第二世代。いくつかの改良を受けている。「GoMore」とはひと言でいうと「スタミナセンサー」と言うこともできる。

世界初のアスリートのために開発されたウェアラブルセンサーで、利用者のスタミナ消費量がパーセンテージ表示で知ることができる。いつでも異なる環境下で、リアルタイムの運動による負荷を正しくモニターできることが特徴だ。

ホームページには、「例えて言うと、車でいう『燃料計』のようなもので、ドライバーがあとどのくらいの燃料が残っているか、あとどの程度まで走れるのかを気にするように、アスリートが自分の『スタミナ』を正確に把握するためのウェアラブル端末」と説明がある。

製品を紹介してくれたのはセールスマネージャーの Ulysses Lu 氏。「たとえば 10km のランニングをした時にどのくらいのスタミナを消費したか、またその後であと 10km 走るためには残りのスタミナをどのように使ったらいいか、スタミナの残量や能力の限界をアスリートに知らせるための端末です」との説明。

さらに、「自分の体力があとどのくらい持続するのか、スタミナの消耗度合いを知り、アスリートが記録更新を狙うために使ってほしい」と続ける。

「GoMore」を使うことでどのタイミングでスピードアップし、どのタイミングでスピードを落とし、どのタイミングで休憩を取るかなど、ワークアウトの最適なペースを決めることができる。

つまり、自分自身のパフォーマンスの限界を把

握し、さらに練習によってどれだけパフォーマンスが改善されたか、現在のパフォーマンスがどのくらいなのか、「GoMore」にを使って視覚化することができ、これらの記録からトレーニングプランの効果を分析し、新しいトレーニング計画やレースの戦略を立てることもできるわけだ。



アスリート向けにトレーニングメニューをアドバイス、ベルト型で体にフィットさせるタイプのウェアラブル端末

Ulysses Lu 氏自身もアスリート。自らが開発の実験台になって「GoMore」の開発に携わっている。「運動の強度、継続時間、頻度の違いによって、また様々な環境、例えば標高や気温、湿度の違いによって肉体がどのように反応したかがわかるんです。また、身長や体重、年齢などのユーザー基本情報、スタミナがどのくらい残っているかの



Ulysses Lu 氏自身も現役のトライアスロンの選手、「欲しいモノを作ったらこうなった」とのコメント

感覚を測るアルゴリズムは独自に開発なんですよ」と Ulysses Lu 氏。

「作りたいモノを作ったらこうなった」という感じの話し方で、他にはないモノを作っていきたいというベンチャースピリッツを感じる。自分がスポーツをやっていると思って欲しいと思った機能を追求してきたわけである。

大企業がマスプロ向けに製品作りをするのではなく、マニアが自分たちにとって使いたいものを形にする製品作りが主流になる。そこでは事業採算性よりも突出した知識と技術を持ったマニアの「情熱」が原動力となる。そんな起業家精神を実践してきた会社だ。

➤ bOMDINC INC (博晶医電)

台北市中山區松江路 63 巷 7 號之 1 四樓  
4F, No. 7-1, Lane 63, Songjiang Rd, Zhongshan District, Taipei City, Taiwan  
TEL : + 886-2-2518-3352  
FAX : + 886-2-2583-3351  
<http://www.gomore.me>

### ■ 3 ■ 繊細な色を読み取り多彩な表現を可能にした Mozpii Color Pincking Stylus

Ufro Inc. (優富楽有限公司)

商品名は「mozpii」、優れたデザインを持つ製品に贈られる Taiwan Excellence2015 を受賞している。「mozpii」は Ufro Inc. (優富楽有) が開発を進めてきた知的玩具である。

円形部分がセンサーになっていて、このヘッドには色を RGB のデータで読み取るカラーセンサーが内蔵されている。首の部分はフレキシブルに曲がる設計で、ボタンを押すと対象物のタッチした部分の色を認識して記録する。

使い方は対象物にヘッドをあててボタンを押すだけであるが、ボタンに指をあてた状態でヘッドを対象物に押し付けるとその圧力でボタンが押し

れるので、小さな子供でも簡単に使うことができ、担当者は「2歳児でも大丈夫。簡単に使えます」と説明していた。

読み取りが完了すると LED が点灯する。読み取った色はアプリに保存される。ペンを使ってタブレット端末のスクリーンにタッチすれば、スクリーン上でその色が再現されるという仕組み。デザインやボディーからも子供向けのハイテク知的玩具といえる。デジタル塗り絵やお絵かきなど、かなり趣味性の高い製品であるが、さらにアプリケーションの開発を進めることによって教育の分野や色彩の分析が必要な分野などへの応用も期待されている。



円形部分がセンサーになっていて、色を読み取ってタブレット上の画面に表現する

「mozpii」は昨年、米クラウドファンディング最大手キックstarter (Kickstarter) を通して開発資金を調達した。ハードウェアはすでに量産体制にあり、台湾での販売価格は 3,000NT ドル (およそ 12,000 円) を予定。知的玩具としては決して安くはないが、アプリケーションのバリエーションに期待したいところ。年内には販売予定。

確かに子供のころ、24色や36色のクレヨンを買ってもらおうとわくわくした。この「mozpii」はどんな色でもセンサーで読み取り、無数の色彩で描くことができる優れモノ。アプリに保存できる色は12色だが、その都度色を読み取る作業をす

れば、無限大に色を表現することができる。

例えば、ここにリンゴがあるとす。このリンゴもよく見るとリンゴの上の部分、下の部分、よく日が当たった部分、そうでない部分、表面には微妙な色彩の違いがある。「mozbi」を使えばこうした色の微妙な違いも実際の品物から読み取り、タブレットにスキャンしたこの色を置き換えて自分のイメージに合った色彩を表現することができるのだ。

自分が着ている服の色や大好きなおもちゃの色、お母さんの頬の色、手のひらの色、膝の色の違いも読み取ることもできる。想像力を働かせて周囲の環境に眼を向ければ、いろいろな使い方色彩の世界で遊ぶことができそう。

私見だが、スマートフォンやタブレットはとても便利だが、スクリーンの中の世界に入り込んでしまう傾向がある。しかし、もし「mozbi」を使うなら周囲の世界にも眼を向けて、リアルな環境との接点作りにとっても役立つツールになる。デジタルな世界に閉じこもるのではなく、手に取ってみたり、指で触れてみたり、実物の世界とデジタルの世界をつなぐツールとして、また子供たちの情操教育のツールとしても活用したい。

➤ Ufro Inc. (優富楽有限公司)

台北市大安區杭州南路二段7-1号5F



お母さんの頬の色、手のひらの色、膝の色など微妙な色の微妙な違いも読み取る

No. 7-1, Section 2, Hangzhou S Rd,  
Da'an District, Taipei City, Taiwan  
TEL : + 886-2-2321-7849  
FAX : + 886-2-2321-7827  
<http://www.mozbii.com>

#### ■ 4 ■ ネコの顔認証で飼いネコに自動的に餌を与える「CATFi」

ZILLIAN INC (奇群科技)

「CATFi」は顔認証で飼いネコを判別し、自動的に餌を与えるネコのフードサーバーである。IOT 技術を駆使して食べた餌の種類や量などデータのセンシング、収集した情報の分析、データに基づきペットの健康管理も行う。

餌と水はそれぞれタンクに入れておき、ネコが近づくとトレイの中に自動で供給される。内蔵カメラで飼いネコかそうでないかを見分けることができ、万一、登録していないネコが餌を食べに来た場合は、アラート機能が作動して餌や水は与えられない。

飼いネコが来ると顔認証で自分のネコかどうかを確認し、自動的に「CATFi」のカメラが作動して映像を送り始める。カメラの横にはスピーカーとマイクが取り付けられていて、ネコが餌を食べる映像を見たり、ネコの声を聞いたり、ネコに声をかけたりすることもできる。ネコとの音声のやりとりによるコミュニケーションも可能なのだ。遠隔地にいながら飼いネコとおしゃべりもできる。

スマートフォンのアプリにはネコの体重の変化や食べた餌や水の量などを記録することができる。記録は1日単位から1週間単位などでグラフ表示ができ、食べた餌の量や水の量、体重は、スマートフォンアプリでチェックできる。

複数のネコを飼っている場合はネコごとに登録をしておく顔認証機能によってどのネコかを見

分けて、それぞれのネコに合った適切な量の餌や水を供給することができるようになっている。

餌を食べている時にネコの体重を計測し、日々のネコの体重を記録する。この体重情報から与えるべき餌や水の量を自動で調節する。もし、トレイに前のネコが餌を食べ残した場合、なんとその残量も記録に残り、次に与える適切な餌の量を計算して実際に提供される。もちろん登録したネコごとに餌の分量は自動的に対応し、それぞれ健康管理の記録を残すことも可能だ。

ZILLIAN INC (奇群科技) は 2008 年設立、これまでもユニークな製品を開発してきた。今回の製品はクラウドファンディングで出資を募り製品化へ。すでに一般予約の受付も始められている。予約特価は 199 ドル、米国市場での通常販売価格は

249 ドルになるという説明。日本での予約受付は未定。(日本国内でのクラウドファンディングの可能性について質問を受けたが、筆者はネコを飼った経験がないためコメントできなかった)

➤ ZILLIAN INC (奇群科技)

台北市大安區和平東路一段 192 號 6F

6F, No. 192, Section 1, Heping E Rd, Da'an District, Taipei City, Taiwan

TEL : + 886-2-3365-2768

FAX : + 886-2-3365-2682

<http://zillians.com>

e-mail : [support@zillians.com](mailto:support@zillians.com)

報道 : <http://www.inside.com.tw/>

2015/08/10/zillians



内蔵カメラで飼いネコかどうかを見分けることができる。そうでないネコがくるとアラート機能が作動して餌や水は与えられない



ネコの体重の変化や食べた餌や水の量など、記録は1日単位から1週間単位などでグラフ表示ができ、スマートフォンアプリでチェック